

2025 年 8 月 17 日 (日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい} 久宝教会

第 68 巻第 18 号 (通算 3455 号)

教会設立 1959 年 6 月 14 日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺 6 丁目 7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

^{ちい}小さくされている人^{ひと}を
^{たいせつ}大切にする^{きょうかい}教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

せいれいこうりんせつ
聖霊降臨節

だい しゅじつれいはい
第11主日礼拝

^{れいはい}《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも^{しちょう}ご視聴^{ばしよ}いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして^{れいはい}頂^{いた}けます》

^{ぜんそう}前奏(黙^{もく}祷^{とう}) ^{ちよさくけんしやうめつ} AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

^{まね}招きの詞 ^{しへん}詩編 ^{へん}71編 ^{せつ}14-15節

^{さんびか}賛美歌 ^{ばん}21-373番「戦^{たたか}い^{つか}疲^たれた民^{たみ}に」(©JASRAC)

^{せいし}聖書 ^{ふくいんしよ}マタイによる福音書 ^{しやう}9章 ^{せつ}35節-^{しやう}10章 ^{せつ}16節

^{いの}お祈り

^{さんびか}賛美歌 ^{ばん}21-405番「すべての人^{ひと}に」(©JASRAC)

メッセージ「他人^{たにん}事^{ごと}か、自分^{じぶん}事^{ごと}か」 ^{うしだ}牛田 ^{ただし}匡 ^{ぼくし}牧師

^{さんびか}賛美歌 ^{ばん}21-408番「この世^よのもので」(©JASRAC)

^{しゅいの}主の祈り ^{ばん}21-62番「天^{てん}にいます わたしたちの父^{ちち}」(©讚美歌改訂委員会)

^{ささげもの}献げ物(*)

^{はけん}派遣 ^{ばん}21-91番「神^{かみ}の恵^{めぐ}みゆたかに受け^う」(1節のみ)(©JASRAC)

^{しゅくふく}祝福 ^{うしだ}牛田 ^{ただし}匡 ^{ぼくし}牧師

^{こうそう}後奏 ^{ばん}アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

^{ほうこく}報告 (4頁^{ページ}をご参^{さん}照^{しょう}ください)

^{せき}《席^{すわ}にお座りになったままで礼拝^{れいはい}にご参^{さん}加^かください》

^{うけつけ}*受付^{けんきんばこ}に献金箱^{けんきん}がございます。

「献^{ささげもの}げ物^{けんきん}(献金)」はご用意^{ようい}のある方^{かた}のみ、お献^{ささ}げください。

招きの詞 詩編 71 編 14－15 節（聖書協会共同訳）

¹⁴ 私は絶えず待ち望み／繰り返し、あなたを賛美します。

¹⁵ 日夜、私の口はあなたの正義を／あなたの救いを語り継ぎます。

しかし決して語り尽くすことができません。

聖書 マタイによる福音書 9 章 35 節－10 章 16 節（聖書協会共同訳）

9：³⁵ イエスは町や村を残らず回って、諸会堂で教え、御国の福音を^{みくに}の^の宣べ伝え、ありとあらゆる病気や^{わずら}患いを癒やされた。³⁶ また、群衆が羊飼いのいない羊のように弱り果て、打ちひしがれているのを見て、深く^{あわ}憐れまれた。³⁷ そこで、弟子たちに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。³⁸ だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に願いなさい。」

10：¹ イエスは十二人の弟子を呼び寄せ、汚れた霊に対する権能をお授けになった。汚れた霊を追い出し、あらゆる病気や患いを癒やすためであった。² 十二使徒の名は次のとおりである。まずペトロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレ、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネ、³ フィリポとバルトロマイ、トマスと徴税人のマタイ、アルファイの子ヤコブとタダイ、⁴ 熱心党のシモン、それにイエスを^a裏切ったイスカリオテのユダである。（脚注 a：直訳「引き渡した」）

⁵ イエスはこの十二人を派遣するにあたり、次のように命じられた。「異邦人の道に行ってはならない。また、サマリア人の町に入ってはならない。⁶ イスラエルの家の失われた羊のところへ行きなさい。⁷ 行って、『天の国は近づいた』と宣べ伝えなさい。⁸ 病人を癒やし、死者を生き返らせ、規定の病を患っている人を清め、悪霊を追い出しなさい。ただで受けたのだから、ただで与えなさい。

⁹ 帯の中に金貨も銀貨も銅貨も入れてはならない。¹⁰ 旅には袋も二枚の下着も、履物も杖も持って行ってはならない。働く者が食べ物を受けるのは当然である。¹¹ 町や村に入ったら、そこで誰がふさわしい人かを調べて、旅立つときまで、その人のもとにとどまりなさい。¹² その家に入ったら、『平和があるように』と挨拶しなさい。¹³ その家がふさわしければ、あなたがたの願う平和がそこを訪れるようにしなさい。ふさわしくなければ、その平和があなたがたに返って来るようにしなさい。¹⁴ あなたがたを受け入れず、あなたがたの言葉に耳を傾けようとしめない者がいれば、その家や町を出て行くとき、足の埃^{ほこり}を払い落とすなさい。¹⁵ よく言っておく。裁きの日には、この町よりもソドムとゴモラの地のほうが^b軽い罰で済む。」¹⁶ 「私^cがあなたがたを遣わすのは、狼の中に羊を送り込むようなものである。だから、あなたがたは蛇のように賢く、鳩のように^c無垢でありなさい。

（脚注 b：直訳「耐えやすい」、c：別訳「素直」）

《先週のメッセージより》2025年8月10日

「今こそ恵みの時、救いの日」

牛田匡牧師

聖書 コリントの信徒への手紙Ⅱ 5章14節－6章2節

今回、何度も登場している「和解」という言葉があります。人と人との関係で考えてみても、何か相手に対して不都合なことや、望ましくないことがあると、後ろめたく感じたり、隠したり、嘘をついたりしてしまって、その結果コミュニケーションが滞ってしまうということがあるかと思います。そのような断絶した関係性を修復するのが、「和解」というわけです。古代イスラエル社会でも日本でも、大昔から「因果応報」の考え方がありました。良いことが起こるのは、良いことをしたから、神様との関係が良好だから。一方で、悪いことが起こるのは、いつか誰かが悪いことをしたから、神様との関係性が悪く泣いているから、と考えられていました。しかし、イエス様はその十字架での死と復活によって、そのような神と人との隔絶した関係そのものに終止符を打たれました。「一人の方がすべての人のために死んでくださった以上、すべての人が死んだのです」(5:14)。そして今や、全ての人はキリストと共にあり、新しく造られた者として「復活の命」を生かされているのだと述べられています。

私たちが生活している現実の社会は、決して良いことばかりではありません。「どうしてこんなことが起こるのか」「何か悪いことをした罰が当たったのか」「神様に嫌われたか、それとも呪われたか」などと考えてしまうこともあるでしょう。しかし、神の恵みが全く感じられないような、そのような時であっても、復活の神の命は全ての人の中に生きています。神の命を受けているからこそ、今日も、今も生かされている。復活の命を、共に生かされている者は、自分が決して独りではなく、神様から見放されているわけではない、ということを知っています。だからこそ、「恵みの時、救いの日」はどこか遠くにあって、いつかは来てほしいと願う日なのではなく、いつでも、どこでも、「今こそが恵みの時、救いの日だ」と言えるのです。

戦禍や自然災害の被害の止まないこの世界の中で、「恵み」とは何か、また「救い」とは何か。そのことを考え、受け止め、また自分にできることを考え、自分がなすべきことを探る。それが今、求められているのではないかと思います。戦争と平和について思いを馳せつつ、また地震や豪雨などの災害の被災地にも思いを寄せつつ、私たちは身近から小さな平和を作り出す務めへと今日も導かれていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025 年 8 月 10 日 平和聖日

礼拝出席 大人 5 人 献金 大人 4,100 円 中継視聴者数 11 回 感謝

◎次週 2025 年 8 月 24 日 (日) 聖霊降臨節 第 12 主日礼拝

招きの詞 エレミヤ書 20 章 9 節

聖書 使徒言行録 20 章 17-35 節

メッセージ 「もらうより、分け合う方がよい」 牛田匡牧師

賛美歌 21-566 番 (©P.D.)、21-280 番 (©JASRAC)、21-499 番 (©JASRAC)

- ・礼拝後に、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行います。どなたでもご参加ください。

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ (全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分を YouTube でご覧いただくことも可能です。
- ・『信徒の友』7 月号「日毎の糧」7/16 欄に当教会が掲載され、多くの方々からお祈りのお手紙を頂きました。感謝をもって未掲載の教会名を掲載いたします。東梅田教会、個人。どうもありがとうございました。
- ・8 月 23 日 (土) 10 時半～12 時にかけて、東中野教会 (東京都中野区) にて礼拝研究会 (ヒムフェスティバル) が開催されます。オンラインでの参加が可能で、参加費は 1,000 円 (学生無料) です。テーマは「主を賛美するために民は創造された『みんなのさんびか』 みんなで賛美歌を共有し歌っていくことから力をいただいて」です。日本のバプテスト教会の賛美歌をリードされ、この度『みんなのさんびか① 希望と平和』を編集・出版された江原美歌子先生が講師です。この歌集は、江原先生が「希望と平和」をテーマにセレクトされたもので、近年に作詞作曲された 30 曲の賛美歌が収録されています。解説を聞きながら、共に希望と平和の賛美歌を歌いましょう。詳細と申し込みは、東中野教会のウェブサイト

(<https://higasinakano.home.blog/>)

をご参照ください。

もしくは、下記 QR コードからも申込が可能です。



◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
8/24	牛田匡牧師	おにぎり支援
8/31	牛田匡牧師	誕生者祝福式
9/7	牛田匡牧師	ユウカリスト・教会を考える会
9/14	牛田匡牧師	敬老の日礼拝

東中野教会 礼拝研究会 第9回 研究会 (ヒムフェスティバル)

主を賛美するために民は創造された

『みんなのさんびか』
～みんなで賛美歌を共有し歌っていくことから力をいただいて～

講師 江原美歌子
EHARA, Mikako

東中野教会 礼拝研究会 第9回 研究会 (ヒムフェスティバル)

主を賛美するために民は創造された

『みんなのさんびか』
～みんなで賛美歌を共有し歌っていくことから力をいただいて～

2025 年 8 月 23 日 (土)
10:30 ~ 12:00

参加方法
【対面】 東中野教会 礼拝堂

参加費 (対面・オンライン共通)
【一般】 1,000 円 (資料代)
【東中野教会信徒・学生】 無料

*参加費について。対面の方は、当日受付にて。オンラインの方は、お申し込み後ご案内致します。

主催 東中野教会 礼拝研究会
後援 日本賛美歌学会 関東支部

第9回の研究会は、日本のバプテスト教会の賛美歌をリードされ、この度『みんなのさんびか① 希望と平和』を編集・出版された江原美歌子先生をお招きして、ヒムフェスティバルを行います。

この歌集は、江原先生が「希望と平和」をテーマにセレクトされたもので、近年に作詞作曲された30曲の賛美歌が収録されています。解説を聞きながら、共に希望と平和の賛美歌を歌いましょう。

参加申し込み

申し込み用紙 (チラシ裏) の提出、もしくは、
右の申し込みフォームより、お申し込みください。